

どっちが 大きい？

単 元	10 よりおおきいかず	対象学年	1 年
ね ら い	20 までの数の大きさを友達と一緒に考えることができる。20 までの数に慣れることで、その後のたし算・ひき算に抵抗なく取り組むことができる。		

1 準備するもの

教師：児童の数カードがない場合、1～20 までの数カード

児童：1～20 までの数カード（算数セットの中にあるもの）

2 学習のしかた

- (1) 2 人の机を向かい合わせにし、1～20 までの数カードを用意する。
- (2) シャッフルをして、裏向きにすべて重ねて机に置く。
- (3) 「せーの」の合図で一枚めくり表を見せ、お互いの数字を見合う。

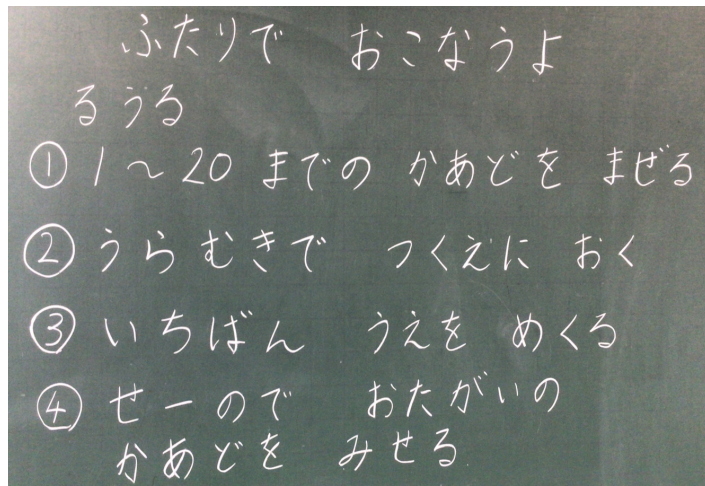


(4) 数字が大きい方を1ポイントとし、合計5回行う。

(5) ポイントが大きかった方を勝ちとする。

3 学習上の留意点

- ・「10 よりおおきいかず」の単元の最後に行くようにする。
- ・ルールが把握できるように、拡大掲示をしたり板書したりしておく。（資料①参照）
- ・ペア同士で算数の苦手な児童にならないよう、意図的にペアを指定し、苦手な児童と得意な児童になるようにする。
- ・合図を一定にして、回数がばらばらにならないようにする。



4 学習の効果

- ・ゲームにすることで、楽しみながら数字の大小を考えることができた。
- ・ペアで行うことで、分からない児童が教えてもらいながら学習することができた。

5 参考資料

児童が数カードを購入していない場合、これを使用する。

1	2	3	4
5	<u>6</u>	7	8
<u>9</u>	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20